

用語集

| 用語 | 用語解説 |
|-------------------|--|
| B P R | Business Process Re-engineering の略。既存の組織やビジネスルールを抜本的に見直し、利用者の視点に立って、業務プロセス全体について職務、業務フロー、管理機構、情報システムを再設計すること。 |
| C I O | Chief Information Officer の略。「最高情報責任者」などと訳される。ITに関する専門的な知見に基づき、業務の革新、情報技術の活用を推進する役職。 |
| E B P M | Evidence Based Policy Making の略。統計や業務データなどの客観的な証拠に基づく政策立案のこと。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする事。 |
| K P I | Key Performance Indicators の略。目標の達成度を評価するための主要な評価指標のこと。 |
| R P A | Robotics Process Automation の略。ロボットによる業務自動化のこと。これまで人間が行ってきた表計算やメールソフト、Web システムなどの操作をオートメーション化するもの。 |
| U I（ユーザーインターフェース） | ユーザーとコンピュータの間で情報をやり取りする接点となるもののこと。機器、入力装置、Web ページのデザインやフォントなどが UI に含まれる。洗練された UI のもとでは、快適な操作が可能となる。 |
| アジャイル | 「俊敏な」「すばやい」という意味の英単語で、要求仕様の変更などに対して、機敏かつ柔軟に対応するためのソフトウェア開発手法。 |
| オープンデータ | 国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、①営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの、②機械判読に適したもの、③無償で利用できるもの、といういずれの項目にも該当する形で公開されたデータのこと。 |
| サービスデザイン | サービスを利用する際の利用者の一連の行動に着目し、利用しようとした背景や、利用するに至るまでの過程、利用後までを一連の流れとして捉え、利用者体験全体を最良とすることを目標にしてサービス全体を設計する考え方のこと。 |

| 用語 | 用語解説 |
|-----------|---|
| デジタルデバイド | コンピュータやインターネット等、情報技術を活用できる人と、できない人の間に生じる、貧富・機会・社会的地位等の格差。 |
| デジタルファースト | デジタル技術を徹底的に活用し、デジタル処理を前提としたサービス設計を行うこと。 |
| マインドセット | 自身の習性として根付いた物の見方や考え方を意味する表現。 |
| 基幹系システム | 住民登録や税、保険、福祉、子育て、就学、健康管理などの自治体の基幹となる業務のシステム。 |
| 情報系システム | 人事、財務、文書、グループウェアなどの自治体の内部事務のシステム。 |
| 三層の対策 | 自治体の内部ネットワークがマイナンバー利用事務系とL G W A N接続系とインターネット接続系をそれぞれ分離し、それぞれの間の情報のやり取りを制限することで、自治体の情報セキュリティを高める対策。 |